令和８年度
学校だより

晴 る る

Ｒ８.１０.１９　№.7
諫早市立大草小学校
校長　白石　和幸

【実り多き秋に、そして、更なる成長の下半期に】

先週の月曜日（スポーツの日）に、家の近所をランニングしていると、ほのかにキンモクセイの香りを感じました。走っていたので、その木や花を確かめることはしませんでしたが、**「そんな時季かあ」**と思いました。次の日、学校のキンモクセイを観てみると、小さなオレンジ色の花が咲いていました。咲き始めたばかりのようで、優しい香りを放っていました。朝晩は肌寒さを感じるようになり、急に秋が来て、一気に深まっているように思います。



玄関の近くにある「キンモクセイ」です。

本校では、9月までを年度の前期と捉え、それまでの学習と生活の成果を評価します。10月9日（金）に、各担任から子供たちに『通知表』を手渡しました。私も、事前に記載してある所見（担任から保護者への記事）を読みました。それぞれの頑張りや活躍、成長等々・・・、一人一人がキラッと耀く文面に感激させられたり、その瞬間を見逃さなかった先生方の姿勢と観察力に感心させられたりしました。勿論、通知表の中には、子供たちの課題も記され、**「達成させたい！」「より一層、伸ばしたい！」**という各担任の想いが込められています。10月から下半期です。子供の個性や気持ちに寄り添いながら、その子の可能性を信じ、目標達成や課題解決につなげていきたいと思います。全教職員で力を合わせ、子供たちにとって『実り多き秋』と、『更なる成長の下半期』となるよう、努めて参ります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



【未来を描き、未来を切り拓く】

150周年行事に係る記念誌作成にあたり、子供たちに『将来の夢・やってみたいこと』というテーマでメッセージを書いてもらいました。**「○○になりたい！」「○○屋さんになりたい！」「○○選手になりたい！」「○○をやってみたい！」**など、いろいろな夢や目標がありました。そして、それぞれに、その子なりの理由が添えられていました。多くの子が、夢を見付けたり、憧れを抱いていたりすることを、率直に嬉しく感じました。子供たちの夢や憧れを聞くたびに、その夢が、私の夢になります。**「サッカー選手になりたい！」**という夢だったら、その子が、サッカーで活躍する姿を想像し、**「先生を試合に招待してね。応援に行くから。」**という風に。教師という職業の魅力の一つかもしれません。また、子供たちに夢や憧れの話をする際は、今、夢があってもなくてもいいし、いくつあってもいい。これから変わっても OK！というようなことを話します。ただ、夢や憧れ、目標があった方が、一日一日・・・時間や命を大切にできるかもしれないね。というようなことも伝えます。子供たちの未来の、その時々に夢があり、その実現のために努力や挑戦を重ねながら、自分の未来を切り拓いてほしいと願います。これまで同様、子供たちの選択を尊重し、できるサポートや応援をしながら、実現や達成した姿を楽しみにしたいと思います。お子さんの夢や憧れについて、御家庭でも話題になさってはいかかでしょうか。



【稲刈りを実施しました。】

10月10日（土）に『学校田』の稲刈りを実施しました。8名の子供たちと保護者、みどり保育園に通うお子さんと保護者、地域の方々、教職員の総勢40名ほどで、鎌を使って稲を刈ったり、刈った稲を藁の紐で縛ったり、稲を干す竿を立てたり、稲を干したりしました。今回も、田植え同様、『稲刈り』という活動を一緒に取り組むことで、貴重な交流の機会となりました。きっと、子供たちの心にも思い出の一つとして刻まれるはずです。御協力ありがとうございました。



【創立150周年記念事業　経過説明会】

今月2日（金）に本校のランチルームで実施いたしました。説明会には、多くの保護者や地域の方々にお集まりいただき、これまでの報告と、今後の計画について話をさせていただきました。協議の中でいただいた御意見や御質問を今後の運営の参考にさせていただきます。たくさんの御出席、誠にありがとうございました。

